sukoyaka biyori

すこやか日和



完成間近！シニア犬のための「うまか」

こんにちは、華ちゃん犬猫すこやか本舗の山本です。
私の溺愛する相棒は、今年で9歳になるチワワのラピスです。まだまだ元気いっぱいですが、最近は寝ている時間が増えたり、白髪を見つけたりと、小さな変化を感じるようになりました。そんな時、シニア向けの新しいドッグフードを開発するプロジェクトが始まり、シニア犬と暮らす私に声がかかりました。ラピスはもちろんシニア期を迎えるすべてのワンちゃんが、いつまでも元気においしく食べられるごはんを作りたい―その思いで、レシピ開発に携わりました。

特に配慮したのは腎機能。腎臓の健康をサポートする黒い素材（黒豆、黒米、黒ごま、黒千石、黒クコ）を厳選しました。リンやナトリウムも控えめにし、体にやさしい設計です。そして何よりも大切にしたのは、どんな年齢になっても「楽しみになるごはん」であること。ワンちゃんたちがうれしそうに食べてくれる姿を思い浮かべながら日々試作を重ねています。
詳しい情報は、またお知らせします！どうぞお楽しみに。

1年かけてたどり着いた、うれしい変化

私たちは「うまか」を長年ご愛用くださっているお客様に直接お会いし、定期的にお話を伺っています。
先日お会いしたのは、レイリーちゃん（チワワ4歳♂）のママさん。「いつの間にか“涙やけ”が気にならなくなってきた」と気づき、1年分の写真を並べてみると、その変化は一目瞭然だったそうです。



レイリーちゃんのビフォーアフター

最初の数か月は「このフードもダメかな…」と思うこともあったそうですが、「体質が変わるには時間がかかるはず」と信じて続けてくださいました。そして1年後、「レイリーの表情まで変わってきて、本当にうれしい」と話すママさんの笑顔が印象的でした。飼い主さんも、ワンちゃんも笑顔に。そんな毎日を、これからも一緒に重ねていきたいと思います。

Umaka's Recipe 健康に冬を乗り切るための
「うまか」を使った 簡単！トッピングレシピ

高タンパク・低脂質 ダイエット食にも！



鶏ささみとゴボウ

〈材料〉うまか60g（210kcal）、鶏ささみ36g（36kcal）、ゴボウ15g（9kcal）合計255kcal

〈作り方〉❶ゴボウをみじん切りにする。気になる場合は、アク抜きを行う。❷鶏ささみを愛犬が食べやすい大きさにカットして 煮る。❸①、②を煮汁と一緒に『うまか』へかける。

冬におすすめの野菜：白菜、大根、ブロッコリー、れんこん、かぶ、カリフラワー、じゃがいも、キャベツ、小松菜、セロリ



※掲載分量は成犬（3kg）の1日分の目安量です。愛犬にあわせてご調整ください。
※写真は掲載分量の半分です。

ワンちゃんの写真＆メッセージを送ってください!!

投稿いただいた写真の中から選定し、会報誌に掲載させていただきます。

※応募いただいた写真・文章は、ホームページ・SNS・その他販促物等で使用させていただく場合がございます。予めご了承ください。

応募はこちらから スマホで読み込んでね！

公式SNSをフォローして、最新情報をゲット！お見逃しなく！

Instagram @umaka873

LINE @zqw1911r

華ちゃん犬猫すこやか本舗
https://hana.inuneko-sukoyaka.jp

ともに、すこやかに。

華ちゃん

すこやか通信

冬号 2025 Winter



福ちゃん
ジャックラッセルテリア
（6歳）

福ちゃんパパさん・佐賀県

アトピーもちでよくかいて赤くなっていましたが、「うまか」に変えてから落ち着きました。「うまか」を食べたくて早朝にパパを起こします😆毎回初めて食べるような食いつきです♪

スタッフより 毎朝パパを起こすほどの食いつきなんてうれしすぎます😂この表情で見つめられたら、早起きも頑張れちゃいますね！



左から
ライラちゃん・ティアラちゃん・エースちゃん
トイプードル
（7歳・8歳・2歳）

うちの「ワンコ」

お客様のかわいいワンちゃんをご紹介します♪

スポンジボブちゃんさん・東京都

今までいろんなフードを試してきましたが、すぐに飽きてしまうことが多く悩んでいました。でも「うまか」に出合ってからは3匹ともお気に入りでたくさん食べてくれるようになりました💕他のおやつも今度試してみたいです😊

スタッフより 3匹並んでお利口さんですね🐶🐶🐶✨仲良しトリオの可愛いショットにほっこりします💕おやつもみんなで仲良く楽しんでくれたら嬉しいです♪



ポポちゃん
柴犬
（3歳）

ポポコさん・埼玉県

「うまか」を食べ始めて、3袋目でほぼ完食、4袋目で最後の1粒までしっかり食べ、完食しました。おやつがわりにフードだけで食べてくれて、おやつも継続して減らせています。苦手だったフードをこんなにも食べられるようになるとは！「うまか」に感謝です。

スタッフより ポポくんそっくりのお友達とのお写真📸並んでいる姿がとっても可愛いです🐶おやつの量も減らせて、フードだけで満足してくれるのは理想的ですね😊



モカちゃん
マルプー
（3歳）

まりりんさん・神奈川県

“涙やけ”がひどくてとっても困っていました。「うまか」を食べ始めても“涙やけ”が良くなったのかわからず、でもしばらく食べさせないと効果がわからないので食べさて1年！なんとあんなにひどかった“涙やけ”が全くない！「うまか」すごい！

スタッフより 真っ白つやつやな毛並みが素敵ですね！長く続けてくださって効果を実感いただけて何よりです✨

B0112



＼冬を元気に乗り切るために！／
気をつけたい6つのこと

寒さが厳しくなると、愛犬たちの体にも少しずつ負担がかかってきます。愛犬が元気いっぱいで冬を乗り切るためには、日常のちょっとした工夫や気配りがとても大切。そこで、冬ならではの注意ポイントを6つに絞ってご紹介します。

（監修：アドックどうぶつクリニック　獣医師 田中克明先生）



特に冬場は
定期的な健康チェックや
体重測定を行い、
異変があれば早めに
獣医師に相談しましょう。

アドックどうぶつクリニック
獣医師
田中克明 院長

＼Be careful／

1 体温・室温管理をしっかり！

犬の平熱は37.5～39.2℃ですが、犬種・年齢・体格によって異なります。室温が10℃を下回ると、多くの犬が寒さを感じやすくなるため、室温は20～25℃、湿度は40～60%を目安に調整しましょう。

寒さに弱い犬種

イタリアングレーハウンド、ミニチュアピンシャー、チワワ、バセンジー、トイ・プードルなど



寒さに強い犬種

ゴールデン・レトリーバー、シベリアン・ハスキー、コーギー、柴犬など



特に寒がりな犬種には毛布やベッド、服などで保温対策を。体温が37℃以下、または40℃以上でぐったりしている、下痢や嘔吐、呼吸が荒い、食べないなどの場合は、すぐに動物病院へ！

＼Be careful／

2 暖房器具の扱いに注意

- ☑ 暖房器具に接近しすぎる、長時間とどまると低温やけどのリスク
  ※飼い主が異変に気づけないことも多いので注意
- ☑ こたつに長く入ると熱中症・低温やけどのリスク





ストーブなど火を使うものには柵を設置しましょう。
また、冬に増えるのが感電事故です。
不在時は電源プラグを抜き、コードをかじらせない工夫を。こたつ内のコードにも注意してください。

＼Be careful／

3 食事の管理を怠らず！

冬は寒さと運動不足によって体重管理や栄養バランスが乱れやすくなります。散歩の回数や運動量が減るのに、食事量がそのままだと太りやすくなるので注意！**体重を定期的に測る**ことが大切です。寒くて外出が難しい日は、家の中でおもちゃを使った遊びや簡単なトレーニングで運動不足を補いましょう。

＼Be careful／

4 ヒートショックに注意

冬は急激な温度変化によって血圧が大きく変動し、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなり得る「ヒートショック」を起こす可能性があります。

お散歩前には、玄関や廊下など少し冷えた場所でウォーミングアップを行い、体を慣らしてから外に出すと良いでしょう。

＼Be careful／

5 乾燥・静電気対策、肉球のひび割れに注意

ワンちゃんの皮膚は人間よりも薄くデリケートなため、乾燥によるトラブル（かゆみ、フケ、赤み、皮膚炎など）が起こりやすくなります。乾燥と同時に気をつけたいのが「静電気」。カーペットなどとの摩擦で帯電しやすく、ブラッシング時の“パチッ”がストレスや毛玉の原因になることも。
さらに、冬のお散歩では、凍結防止剤が肉球に刺激を与える場合があります。肉球が傷ついたり、乾燥したりして、ひび割れにつながることもあるため注意が必要です。

乾燥・静電気対策

- ☑ 室内の湿度は40～60%に保つ。
  加湿器は呼吸器系の疾患をもつ子にもやさしくおすすめ
- ☑ 冬のシャンプーは月1回程度に
- ☑ ブラッシング前に保湿スプレーの使用
- ☑ なでる前に金属ではない壁などに触れる



肉球ケアは大切！

＼Be careful／

6 感染症の予防も忘れずに

冬はワンちゃんも感染症のリスクが高まる季節です。特に体力のない子犬や高齢犬にとって、感染症は命に関わる深刻な病気を引き起こすことも！

感染症から守るために

- ○ 狂犬病ワクチン（年に1回/4～6月）
  ※2027年4月より通年可となる見通し
- ○ 混合ワクチンの定期接種
- ○ フィラリア・ノミ・マダニ予防
  （通年または春～秋）
- ○ 生活環境の衛生管理
- ○ 他の犬や野生動物との接触に注意
- ○ 免疫力が上がる食生活を
- ○ 異変があればすぐに動物病院へ



今すぐ確認を！

季節の変わり目は防災グッズの見直しを。
ペット用カイロ、暖かい毛布やマット など、
冬は寒さ対策用の備品を追加して下さい。

冬をテーマに皆さんにアンケート

（2025年8月購入者に実施）

たくさんのご応募、ありがとうございました



お散歩時の工夫

- ●オナモミやセンダングサなど体毛に種などが付いてしまうのでブラッシングをまめにします
- ●凍結で転ばないようにしっかりした靴を履く、手をポケットに入れなくてもいいように手袋をはめるなど「人間の対策」をしっかりしています
- ●寒さで耳が切れる場合もあるので、スヌードで守ってます
- ●浜辺を散歩するので冬用オールインワンを着せています。砂が入らず便利

重宝しているグッズ

- ●メインバーグというメーカーのヤギミルクを温めて飲ませています
- ●マルカンの蓄熱着る毛布
- ●クリスマスやお正月にエゾシカのステーキを。真空パックで800円くらい。ハンバーグなどもあり。小さくて高いが犬は喜ぶ
- ●電気で充電する湯たんぽ
- ●アイリスオーヤマの電気マット、3wayクッションにカバーをつけてペットカートに入れてます
- ●赤ちゃん用のネックウォーマーを腹巻きに
- ●散歩に着せるオールインワンはMANDARINE BROTHERS

室内での工夫

- ●自分で温度調節できるよう床暖房は部分的にオン
- ●暖房はつけず毛布のような暖かい洋服を着せる
- ●お留守番の時に遠赤外線のストーブを。触れても熱くないので安心
- ●静電気で興奮するので加湿器は必須





食事の工夫

- ●うまかを90℃の熱湯でふやかし適温に冷まして食べさせる
- ●水を飲む量が減るのでぬるめのスープをあげる
- ●私達が食べる鍋の野菜などを味付けする前にトッピングであげてます



＼冬はおしゃれが楽しい♪／

みんなのファッションチェック

皆さんの愛犬をご紹介

